This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problems Mailbox.



U(4)

国際は8年11月7日

经保护基础 口

1 23 日の 名は チャントウタイ セインフゅう 口口面口口口口件の口包件

2 및 13 - 17 大阪府大阪市京住省区沿塁町ノのノウン・

(はか/名) ⊞.

多切许出口人 口记句母 301 大使房大口市口图辽巴口3丁目/

(192) 日日日日日日日本金社 曹昂 代取行

4代 豆 人 DODD 558

大厦市团岛区沿岸上名丁目《7春均

分□土(6703) 岩 3 段付□□の四□

(A) CB CD □.

袋

口口口油太

(1) 图本图积许广

50 - 76072 MACIE

昭 50. (1975) 6.21 63公開日

48 - 125187 ②特團昭

昭48. (1973) 11. 7 20出頭日

黎髓森 審查請求

(全.7頁)

庁内盛理番号 7043 44

7306 44 6855

6855

50日本分類 16 E431

16 E432 16 E433

30 B4

D Int. Cl?

C07D213/62 C07D213/81

C070 213 /84

C07D215/20

C07D217./241

A61K 31/44

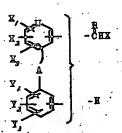
A61K 31/47

27

4 発明の名跡 口以降口島町体の以遺法

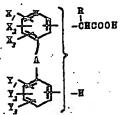
1 特許買求の賃囲

一位式



(式中、ストステステア アンコングリはそれぞれ水 窓、アルキルび、アルコキシむ、カルボキンだ、 アミノ茲、カルパモイル茲、ニトロ茲、ジアノ茲、 水口芯、アシガオキシ凸、アシルアミノ凸、トリ フルオロメチル珍、みるいはハロゲンを寂わし、 これらの口口立のうちの任口のよ口口むが結合し てピリシン取るるいはベンゼン取尺符合する問題 あるいはペンダン司を認成してなよく。 Xはハロ ゲンを冠わし、 Aは口及みるいは口貸を扱わし、

Bは永森のるいは低限アルキル基を取わす。 ただ し上足一位式中の一切 基は3回の日見話により 形成されたペンゼン母上に存在してるよい。 〕 で示される化合物をカルポキシル化反応に付して **上**(金式



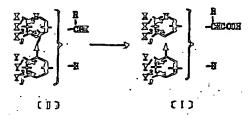
(式中、In In In In You You You Att LURU 的配 と間点点を受わす。〕

で示される化合物を印ることを特徴とする日気酢 買問の体の質過法。

3 強明の深温な説明

太舜明は日泉昨日周む位の貝道法に同し、さら **に辟しくは位れた抗炎症作用く抗りクマチ作用る** 合む)および口戸作用を示し、回口またはその合 成中国体として有用な口負酢口配む枠の母連法に、 口する。

・本逸明方法のほぼは次式によつて示される。



【式中、 N, Ng Ng N, N, および N, はそれぞれ水 点、アルキルび、アルコキシ茲、カルボキシ点、アミノび、カルバモイルび、ニトロ語、シアノび、ドリフルオロッテル語のるいはハロゲンを取めし、これらの日口でのうちの任口の2日口でが鳴合してピリワン回ふるいはベンゼン型に信合する回回のるいはベンゼン型を形印してしまく、 Nはハロゲンを取めし、A は口はみるいは西口をあらかし、 B は水球のるいは亜段アルキル語を取りす。ただし、上記一段式一では で取めまれる口点では 2 回の口点がにより形成されたベンゼン回上に存在し

5辺はれる同一または領具なる!~3辺の①Q凸 によって各々ペンゼン取およびピリワン図が①Q されていてもよい存むハロゲン化合領である。

本発明方法の貸口においては ①口ペンジル 廻ハロゲン 化切に対して用いられるすべてのカルボキシル 化方法を用い口 るが、その3、3を例示すると次のとおりである。

まずー例としてはハロゲノアルキル駅で外(目)
のハロゲン原子をシアノ芯に口口する。この反応
は不活性溶感(例えば、ピリジン、ジェチルホルムアミド、ジェテルスルホキンド、ノーェアルー
3ーピロリドン、水、メタノール、エタノール)
中シアノ化は剤(例えば、シアン化四一周、シア
ルナトリウム、シアン化カリウム、ベンジルトリッチルアンモニウムシアナイド)を使用して温
合知為下に又心される。なお、ヨウ化ナトリウム、
ヨウネーヨウ化カリウムを加えて反応の促進を関
つてるよい。次いで心られたシアノアルキル同じ
のシアノごをカルボキシルごに変しするため知
水分口に付す。この如水分口は宿法に従って行え

てるよい。〕

太照明方法は一個式(Ⅱ)で示されるハロゲノア ルキル同型数をカルボキシル化反応に付して一個 式(Ⅰ)で示される対応する□公邸□□□数数を包 ることを目的とする。

太鶏明方迷の□浜化合筒(□]は対応するアルコール化合筒をパロゲン化水ほじ、ハロゲン化チオニルあるいはハロゲン化リンによつて常法型リハロゲン化するととにより□られる。

はよく、宣性条件下のるいは超恋住条件下のいずれておこなつてもよい。□としては虹回、四回、四回、四回、またはこれらと有知回(句えば、扉回)などとの記合質を用いることができ、超恋としては次□化アルカリ、反回アルカリなどが用いられ、次あるいは合水溶質の存在下で加口することにより交換される。

さらに他の方法としてはグリニャール試験をカルボキシル化する方法がある。すなわち、ハロゲン化アルキル緊耶体(目)に常法とおり金貝マグキシウムを反応させてグリニャール試験をつくり、これに冷却下二酸化胶法を引入するかまたは固体設置と反応させ次いで加水分間に付けてとにより目的とする口点降自同型体が行られる。グリニャールは受の収平向上の為選ぶ気が中で反応を行うこと、ヨウドあるいは臭化エチルなどの縁が測を加えること、その侵力官のグリニャール環境によるカルボン口合成の反応条件は次発明方法交包の具に負回を用い行る。

また、アルカリ金口化合図と良口によるカルボ

ン口の合成法な利用できる。一個にはハロゲノアルキル思り体(用)にブチルリテクムを屈応させてリチクム化合物とした似てれに二凹化投資をひ入することにより目的化合物(1)を切る。この方法においてブチルリチクムの代りにブロムベンゼンとリテクムまたは砂状ナトリクムアマルガムを用い切ること、二日化皮質の代りに固体皮凹を用い切ることなども温度のアルカリ金口化合物によるカルボン目の合成と同様である。

なおこれらのカルボキシル化反応中に変化を受けるとリリン司のるいはベンゼン司上の口具語はカルボキシル化反応前にご当なほごむで録記して、おものは反応の変化を受けた口具でを反応後了公耳の受合してもとの口具でにもどすことなど。

の日に応じて引口されてよい。

本発明方法に知いては上記されたカルボキシル 化反応に限定されるものでなく、一個式(B) で 示される化合場をカルボキシル化して口気所ご同 な你(l) にする方法をすべて包含するものでみ

記る。アルミナカラムクロマトを付し、505ペンセン/ヘキサン窓出記より!1550の5-フェノキン-3-ピリコンアセトニトリルを記る。
IR, CCC/c c-1 3250。

本品 30% に 30% 京口化カリウム水沼液 10 はおよびエタノール 10 以を加え水路上で 1時間 江記する。エタノールを留去級水を加えて結 以し、適凹で設住とした位出 良田ナトリウムでアルカリ住とし、クロロホルム およびエーテルで洗点 資活 住炭で 処理する。次いで 担回で 四% に口 返し 担化ナトリウムで 協加しエーテルで 抽出する。 抽出液を水洗、 砲 口 位 エーテルを留去すると 4 ーフェノムシー 3 ーピリ フル 邱田 12 2 5 8 を口る。 エーテル/ヘシャンより 再結 日本 2 5 00 . 1910 . 1720.

豆面朝3

3-フェノなシー3-(α-ハイドロキシエチ a) ピリジンよる 8 を 四週化炭系 2 0 ぱ 尺 日 足 し ン ス 2 0 で ご 見 化 リン の 四 密 化 炭 点 は 収 (カ / り / な な) に 2 0 分 を 戻して 心 下 し た 心 3 ら に

□□ 四部一76072 函 る。かくして口られた□口□□□□□□□(1] はま らに分印、司□のるいは日間化の凶屈に応じて、 □当なアルカリ☆□智(日えば、ナトリクム、カ リウム)、アルカリ土☆□智(日えば、カルシウム、マグネシウム、パリウム)、その臼アルミニ ウム哲などに冒法に従って豆口することが可認で ある。

本類明方法の目的化合物である日点部設局で作 (1)およびその短頭は日れた抗炎定作用(抗り ウマチ作用を含む)または負額作用を示し、医豆 またはその合成中国体として有用な化合物である。 以下突向側において本発明方法の目前を示す。 交換例/

ューフェノキシー 5 ー クロロメテルピリジンノ 1 2 8 8 8 をシメテルスルホキシドア 0 ぱに沼輝し、 5 5 ℃ でからませながらシアン化ナトリクムのシメテルスルホキシド溶放(5 6 0 / 5 5 ぱ)を加え3 0 分回反応させる。冷却収水水を加え、エーテルで抽出し油出放を水洗配段以カリウムで、

©公しエーチルを留去すると油状気証 1 2 7 0 を

20分隔間過配で反応させ、次いで意口で一枚嫁 ①する。反応液を泳水中に微入し積度□ナトリウム水幅位で中加した氩クロロホルムで油出する。 抽出放をは過量クロロホルムを図去し油状気証と して 5 - フェノキシー 3 - (α - ブロモエチル) ビリシンム 5 fを得る。本品は窮鼠することなく 次工窟に用いる。

ン口を行る。

Sーフェノキシー3ー(αークロロエテル)と リシンを用いて同様の悠泉を口る。

. . . .

IR "Lafol o" 2000.1900.1725.

製着性質で処理する。担心で四々に口感し折出する状況を伊取、水洗、免疫すると中!31~13年でのユー(5-フェノキシー3-ピリシル)プロピオン口を与る。同じエチルより再は吊すると、中!35~13よ7の結局を勾る。

ច្ចាធាន

交回例/と同劇尺度的を行い、ユー(ヨークロロメチルフェノキシ)ピリジンからヨー(ユーピリジルオキシ)フェニル() ロ・中//0~/// でを行る。

艾丽例6-95

交記例/と風景に反応を行い、下足の化合物を 口る。なお下巴桑中で用いられる自分は下足の口 味を変わす。

口0:メテル茲

Yot: メトキシ基

Bt:エテル茲.

1go-Bu:イソプチル哲

Ao:アセテル茲

An: アニリノび

Ca: カルシウム超・

AD: アルミニケム日合体

d: 分口点

第四 第3-76072(6) 死、使口数エーテルを冒去し、中ノ30~/34 でのユー(ターフエノキシー3ーピリジル)プロ ピオン口を向る。即口エテルより再倍過し、中 ノ35~/355℃の結局を向る。

虹团图 4

5-7エノキシー3ー(αープロモエチル)ピリジン2189をジェデルスルホキシド30㎡に容疑し、55℃でかな京世ながちシアン化ナトリカムのジュチルスルホキシド溶液(530円/4㎡)を加える時間反応させる。冷却設氷水を加えエーテルで抽出。抽出波を水洗、砲貸設エーテル、を冒去し、油状浸溢20gとして5-7エノキシー3-(α-シアノエチル)ピリジンを松る。

IR PCCI a al 2250.

本品は同日するととなく次工運に用いる。
本品130を30分水口化カリウム水溶液60
ぱおよびエタノール60ぱの記憶に溶除し、6時
国己流する。エタノールを含去配水を加えて希訳
し、組配で口性とした設力炭配ナトリウムでアルカリ性としてクロロホルムおよびエーテルで洗尿

																				•											
	(D,) do	82-9-26	152-153d	B07/~6//	P64~86	133~1308 ·	135-130B	1075~10ESG	B50-00	117011	\$6~08	62-63	511-011	02/38-136	02 80-814	£0 60-68	138~/30d	101-1038	1163~1123	88~38	101-001 50	'do /55	\$ 2~63	116-117	109-101	B901~601	AG 236	150~156d	00 133-137	Co / 30	/60~/63(短陷)
	⊳, S	#	Ħ	m	=	m	æ	×	Ħ	m	pe.	Ħ	Ħ	Ħ	,m	₽.	Ħ	=	æ	. #	×	=	m	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	四	Ħ	Ħ
	¥ .		· #	Ħ	田.	. #	×		=	125	m	##	m	Ħ	#	₩.	Ħ	Ħ	IXI	Ħ	×	=	Ħ	m	m	=	# .	Ħ	#	m	Ħ
ж - сисоон	χ'	, M	ş	ą.	#	2 7	P	3-C	<u>ئ</u> ر	Ş.	m	À	5	Ħ	ģ	6	10	Ĵ.		Ţ	m .	ij.	3	Ş	Ş	ğ	Ç	1000-is.	£	3	\$-00.TE.
	κ ^ρ	821	=	≓.	224	m	#	m	Ħ	Ħ	m	Ħ) •	#	m	×	m	=	m	×	×	#	m	Ħ	185 	#	≈ .	 M	m	ѭ.	Ė,
	д,	. 1955	=	·#	Ħ	Ħ,	. 🗷	₽.	# :	=	×	200	m	Ħ	=	×	×	Ė.	=	Ħ	m	m,	#	₩.	24	#	p	Ø	Ħ	PS	=
- 4	-₽-	3-0	3-0	3-0	3-0	7-0	0-2	3-0	2-0	9-0	7-0	9-0	6-0	6-0	9-0	8-8	0-2	3-0	8-9	9-0	& − &	0-9	3-0	9-0	9-9	3-0	0 9	9-6	3-0	8 - 8	3-D
	44	×	Œ.	å	, Б	· ##	=	. 8	Ğ.	G	읽	Μõ	Ŋ.	គ្	, en	Д	Цe	អ្ន	o H	2	원	. Д	4	m	ង្ហ	eg G	古	ß.	ΩĐ	Щ.	១ ជា .
	SECOND CITO	8	25	ខ	\$	ಶ	8	t.	8 .	E)	, (1)	#1		43	· 193		ა	\$	en,	· ••	تع	٠ ٩٦.	υ.	~1	ed .	\$	64	8	₿.	m	υ.
		v	7	49	۶	101	1	/3	8/	٥/	51.	16	11	.18	.61	30	3/	23	23.3	30	2.5	78	23	D F	. 68	30	8	r3 ≪3	ξŊ.	. S.	ري م
		•							-				•				•									•					

٠											•					•										٠					į	
(D)&	Ca 187-189	SE61~8861 00	8/8	105 ct)	113-1160	P881~681	143~143B	136~137d	300~30E	081-611	136~/39d	120~131	135~136	82-68	113-116	84-87	45-67	81~83	130-131	16~04	103~108	86-66	86-878	130-131	100-100	Ds / 954	D 1004	02 20 34	123~1344	P#07~801	135-139	113~114
Y.	Þ	2	Ħ	」	×	m		M	¤	四	Ħ	Ħ	;= :	Ħ	#4	Ħ	m	Ħ	· 2003	Ħ	Ħ	⊯	m	=	Ħ	m .	Ħ	m	Þ	Ħ	र्भु	រុំ
72	221	#	#	223	Ħ.	Ħ	æi	幽	Ħ	=	ź	×	×	t	ន្ន	网	Ħ	Ė	Ŋ	a L	Ė	. m	វិ	វ្ន	À	<u>ਜ</u> ਹ	Ĵ.	H	អ្ន	Į	į	ş
χ'	5	9	\$0°	2	g.		T. Bas	Ì	2		34-2F	Î	¤ .	##	Ţ	30%	1	3	3	ស្ព		Legg.	<u>۾</u>	អ្ន	=	, P	A .	J Š	. <u>ያ</u>	1	শু	มี
¤ r	#	×	84	Ħ	☎.	#	, m	Ħ	m	m .	m	Ħ	E	×	Ħ	k a	Ħ			m	m	Ħ	. ¤	Ħ	· =	, =	Ħ	Ħ	×	#	=	m
, ¤	ps.	×	. (21	×	8 21	m	m	Ħ	Ħ	#4	#1	 	Ŋ	री	×	×	Ħ	Ħ	Ħ	×	Ħ	Ħ	Ħ	, M	<u> </u>		Þ	im	#	Ħ	8	=
- V-	0-7	3-0	0-9	Q ÷ Q	3-0	3-0	9-0	3-0	9-0	0-9	9-6	0-9	0-0	0 1 0	0-9	60	9-0	8-0	8-0	8 + 0	ά-0	9-0	9-0	9-0	0 <u>-</u> 9	0− 9	6-0	0-9	3-0	3-0	9-0	9-0
p#	ន្ព	2	윮	名	ğ	ង្គ	μ	. . .	뭐	စ္ခ	မ္ဘ	8	ខ្ព	Ę.	ន្ទ	ខ្ព	ğ	ង្គ	Z,	S	유	ន្ទ	្ន	Ħ	Ğ.	ខ្ល	2	μ	ង្គ	ន្ន	គ្ន	ង្គ
A CHESTOR	ಶ	8	c)	 	ප	B	. 8	5	* &		, ts		Rg.		≈ŋ.	57	÷3	63	م م	P	•	m	8	 	67	, Lu3	M	63)	8	8	, %	n)
COC	38	37	3.6	8	30 8	ક	ri B	£ 27	ដ	\$3	. 90	47	BB	αp	30	. / 5	. 23	ب ش	្ត ទី	5	45	. 39	60	5	80	81	83	%	49	S	. 49	42

	6 1800 1800 1800 1800 1800 1800 1800 180	ø.	V -	*	×	۲,	H	Þ.	(٥) &
		ş	1		=	i i	វិ	Į,	159~156
ر ا	י ניה	3 \$) (1 \		. =	£	Ţ	Į,	135~136
%	m .	0 1) (d b	4 - 15	38-(0	38-(CH2)8-	=	CB /694
20	• • •	3		4 . 5	1. 2	Į	Į,	អ្ន	125~126d
16	13. 1	ដា ន		d ,b	; p:		. 3	រុ	136-1378
78	,.: s. n	J &	9 6	1 · #	, pr	13-62	23(CH3).q-	≥	Co 168~1668
n .t	n	<u> </u>	6 0	, pa	Ħ	アンケーカド	7.77	Ħ	130 3-1215
3 *	. "	1	0-9	· ==	×	ンジャーとろ	7.77	Ħ	181-187
2 ' 2	•	ន្ទី	0-9	1	S.	==	m	" #	59/~aa/
	. 8	<u> 된</u>	3-0	26-42.5	17.73	· 🕦	Ħ	⊯ ∙.	02,3/6~3/7
26	, m	2]	9-9	4.5ーペンプ	7.0	×	#	×	132~133
	en	2	6.0	43-(4,5-(GHz) 5-	, =	=	Ħ	181~183
. 0	, es	ន្ទា	9-0	E	#	34-(34-(CH2)3-	#4 1.	1320~/333
18	m	ฏ	6-0	Ħ	×	4	m	¤	695-703
. 62	93	2	0-9	24 PM	<u>1</u>	=	#	Ħ	GD 3104

		. 4				
١	JESI	ж,	X,	フェンキンご の位口	ONI C	اـــــــــــــــــــــــــــــــــــــ
	F 3	Ħ	H	3 .	3	159 76-17
1	84	H	Ė	2 .	3	H //0~///
1	83	H	Ħ	2	0	13 /39~/30
l	86	9-Caī	H	. 2	. A.	198~200
١		.5-001EB	X.	.2	6 4 -	دادسالد ط
١	87	H	Ħ		ø	to 130-131
١.	88	H	H	· a	· a	180~181
ľ	ያ 9	30-(0		2	g	13 166~167
1	90	1			α.	M 149-147
-1	71	34-~		.2	•	13 13 5-158
1	93	3-12∋	%-10	. 2	a.	
1	93	0-12a	5-Ma	2	φ.	No 102-103
i	90	Ø-110	H	2	۵	m /25-/29
	9.9	6-120	Ħ	2	4 ·	12 Ca 273-273
	1	1			•	

林会定场证据300位 人口出和的

代日人 角趾 岩町 郑原

@@ \$50-76072(7)

ム館母以外の発明者

**/グン とが/始かが30 大阪府岸和田市口ケ丘可 # 0 # 0 # 5 に ロ ロ ロ ロ ロ 手口品 E II (DDOrchit)

夕李阳四

昭和48年12月6日

特许厅具官 〇.

L ①件の夏示 昭和 48年9中□6 / 23/87号

4発明の名称:

口口の可可切なののは一番は

3詞正章する智

口件との関係 特許出口人

住所 大阪府大阪市口区立四日3丁目/2日均

名称 (193) 络野岛口口族式会社

代政弘 吉 列 一 竣

《代 囗 人

住所 大阪市巴瓜民口湖上2丁目47公均 妇牙四日妇 位太会社 停降 68

人行则欧

は福正の対象

明は日の発明の降却な説明の日

る沿正の内容

(の関係で属す質の化学の造式(1)を下記のよ

PERIETZ.

は同心ロノコ国下からを行目の「寂わす。」を「庭わし、-△-□において何えば2-0はピリッン回の2位がエーテル法合をしていることを寂わし、 K, X, Y, Y, 対2 およびY, か各々の□において何え はは-C1 は最終のは位をクロルが□□□しているこ とを寂わす。以下の頁□例においても同心である。」 に訂正する。

| 団周13年/6日 京行の次に下記の文を追加する。 | 住:上設におけるカルシクム包は夏口切るもの それは女水和田であり、突は倒ユッでは光水和物、 突は倒3年および39では1水和物、取は例63、 70、73、77および82では15水和物、突 は例18、19、33、37、61および62で は1水和切であり、突は倒36および38では年 水和畑である。」

例閉分弱 / ク質の設の下に下記の文を抑入する。 「注:安!! 切りのカルンクム担は / 水和切であ

e l

特許法第17条の2による補正の掲載 昭和 以8 年特許政第 | 2 上 18 7 月(特問昭 トローリカロリント 昭和 10年6 月21日 発行公開特許公則 10-16 日掲載) については特許法第17条の2による福正があったので 下記の通り掲載する。

Int. Cl*.	記製	庁内亞理群号
C070213/81		7138 40
	-	7138 40
213/84		7138 40
215/20		7306 UC
217/24		7306 40
11 A61K 31/44		6617 40
31/47		6617 40
	ı	ŧ
	73	
	. (: 2-3	

よ福正の対象

明細むの「特許は求のほ図」および「発明の辞 はな説明」の意。

4福正の内容

(1)特許印象の道題を別紙のとおり訂正する。

(2)切りつま真下から4行、6行、6~4行、4 行および3行の「あるいは」を「stたは」に訂正 ナス

(1)同口は耳8行および充行の「のるいは」を「 または」に肛正する。

(4)同①クロノノ行およびノ3行の「みるいは」 を「または」に訂正する。

田上

手 C A E O +QQO~({2~)



昭和 55年 3月/2

物序产级官 以

人口件の表示 四和48年停停環境 / 25/87 号 2発服の名称

口口数四四级农口四级路路

3福正をする智

ひ件との口祭 特所出回人

住所 大阪府大阪市京区辽西町3丁目/2登地

名弥 (192) 短野鱼贝贝森式会社

代及容 吉利 一 超

纵代 怼 人

在所 大阪市村及区公司5丁目/20%(255) 村原村区以及农民会社 诗序部

(辽陸06-458-3861)

氏名 弁型士(6703) 岩 筒 光 [全径は型由心体の日体 関和 年 月

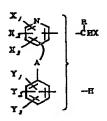
5 月 日(2021日 / **6**



(別()

2.特許は水の迂囲

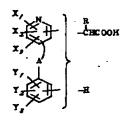
一位式



て式中、X,、X,、X,、X,、Y,、Y, M よびY はそれぞれ 水は、アルテル芯、アルコキレ芯、カルボやレル さ、アミノ芯、カルバモイル芯、ニトロ芯、シア ノ芯、水心芯、アシルオキレび、アレルアミノご、トリフルオロメテル芯、全たはハロゲンを取わし、 これらの日口だのうちの任立の3日口むが結合し てピリッン型水たはペンゼン型に口合する脚型立 たはペンゼン型を形成してもよく、Xはハロゲン を立わし、Aは口は全たは型口を取わし、及は水 は全たは低四アルマル苔を戻わす。ただし上配一

昭 55 6.14

ス 式中の一CBX 基はよ何の電換基により形成された ベンゼン環上に存在してもよいと、〕 で示される化合物をカルギャシル化反応に付して 一般式



(式中、X,、X,、X,、Y,、Y,、Y,、A,、AおよびSは 前記と同意義を表わす。) で示される化合物を得ることを特徴とする質換節 厳悪事体の製造法。

(以上)